

理知と情熱が交差する、その先に見える一筋の光

金川

Mayumi Kanagawa Violin Recital

真弓

ヴァイオリン・
リサイタル



ジュゼッペ・グアレーラ

Giuseppe Guarnera, Piano

J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番
ハ長調 BWV1005

J.S. Bach: Solo Violin Sonata No.3 in C major BWV1005

武満徹: 妖精の距離

Takemitsu: Distance de Fée

ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ ト短調

Debussy: Sonata for Violin and Piano in G minor

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第9番
イ長調 op.47 「クローツェル」

Beethoven: Sonata for Piano and Violin No.9 in A major, op.47 "Kreutzer"

©Kaupo Kikkas



©Kaupo Kikkas

2022

10/20 (木) 19:00開演 (18:15開場) 東京文化会館 小ホール

Thursday 20th October 2022 18:15 Open, 19:00 Start / Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall (Ueno)

[JR上野駅 公園口前]

全席指定(税込) | 5,500円 / 学生 3,000円 (※公演当日は要学生証) [一般発売: 7月11日(月)]

お問合せ・お申込み | PCM パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831 (平日 10:00~17:00)
http://www.pacific-concert.co.jp/

プレイガイド | ■イープラス eplus.jp/ ■ローソンチケット l-tike.com/ [Lコード: 33455]

■東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 www.t-bunka.jp

主催: パシフィック・コンサート・マネジメント

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ぬ事情により曲目、出演者など内容が変更になった場合でも、公演中止を除きチケットの払い戻しは致しかねます。
※ご来場の際は、適切なマスク着用等、感染症予防対策にご協力ください。

Mayumi Kanagawa

Violin Recital



ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位、
チャイコフスキー国際コンクール第4位を受賞し、
いま破竹の勢いで活躍するワールドクラスの金川真弓。
バレンボイムの厚き信頼を得て、
名門オーケストラや音楽祭に出演し
欧州で充実した音楽活動が続ける
実力派のジュゼッペ・グアレーラ。
世界で躍進を遂げる若き二人による
丁々発止の圧倒的デュオ、いよいよ日本デビュー！

©Kaupo Kikkas

金川 真弓 (ヴァイオリン) Mayumi Kanagawa, violin

音楽への専心と、豊潤かつ深い音色で奏でられる音楽性が聴衆を魅了している。2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、2018年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位入賞および最優秀協奏曲賞を受賞し、一躍注目を集める。

これまでに、ブラハ放送交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団等と、日本では、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団に客演し、ハンヌ・リントウ、セバスティアン・ヴァイグレ、ユーリ・シモノフ、パスカル・ロフェ、アレクサンダー・シェリー、ヒュー・ウルフ、モデスタス・ピトレナス、カーチン・ウォン、尾高忠明、秋

山和慶、小泉和裕、井上道義、広上淳一、飯森範親、川瀬賢太郎等の指揮者と共演している。2022年は、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団へデビューする。

室内楽やアウトリーチでは、トランス＝シベリア芸術祭やヴェルビエ音楽祭等に出演するほか、トナリ・ツアーズのドイツ・ツアーに出演した。日本では、シャネル・ビグマリオン・デイズでの公演も好評を得る。

ドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、その後ニューヨークを経て、12歳でロサンゼルスに移る。現在はベルリンを拠点に演奏活動を展開させている。ハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに、また名倉淑子、川崎雅夫、ロバート・リップセットの各氏に師事。

使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金から貸与されたペトラス・グアルネリウス(マントヴァ、17世紀後半製作)。



ジュゼッペ・グアレーラ (ピアノ)

Giuseppe Guarrera, piano

2017年モントリオール国際音楽コンクールで第2位および聴衆賞を含む5つの賞を受賞したほか、2015年ジェイムズ・モットラム国際ピアノ・コンクール第2位、2010年プレミオ・ヴェネツィア・コンクール優勝。

これまでに、ヴァシリー・ペトレンコ指揮ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、クラウド・ペーター・フロール指揮モントリオール交響楽団、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団、フェニーチェ劇場管弦楽団等のオーケストラと共演している。ウィグモア・ホールやメクレンブルク＝フォアポンメルン音楽祭でリサイタルを開催し、2017年にはピエール・ブーレーズ・ザールで、ダニエル・バレンボイムのタクトでバンジャマン・アタイルの協奏曲を初演した。

室内楽では、エルサレム国際室内楽フェスティバルに、エレナ・バシキロワ、ラモン・オルテガ・ケロ、パスカル・モラグス等と共に出演した。金川真弓、ベン・ゴールドシャイダー、アレクサンダー・ヴァレンベルクと共演を重ねている。

シチリア生まれ。イタリアで学んだ後、ハンス・アイスラー音楽大学でエルダー・ネボルシンに、バレンボイム・サイド・アカデミーでネルソン・ゲルナーに師事。

©Kaupo Kikkas